

作成日 2019/01/30
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	業務用内窓ガラスクリーナー(原液使用タイプ)
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M190130

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B 発がん性 区分1A 生殖毒性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(中枢神経系)
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H226 引火性液体及び蒸気 H320 眼刺激 H350 発がんのおそれ H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地すること。アースをとること。(P240)
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

応急措置

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

保管
換気の良い冷所で保管すること。(P403+P235)

廃棄
施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報
化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エタノール	18.0%以下	CH ₃ CH ₂ OH	(2)-202	既存	64-17-5
陰イオン 界面活性剤	0.5%以下	不明	不明	不明	不明
香料	微量	不明	不明	不明	不明
精製水	バランス	不明	不明	不明	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置
吸入した場合

吸入した場合は、空気の新鮮な所に移動しやすい姿勢で休息させ、気分が悪い時は医師の診察を受ける

皮膚に付着した場合
皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、水を使って洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じ場合は医師の診察を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合は、清浄な流水で数分間注意深く洗眼する。洗眼の際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。異常を感じる場合は医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぐこと。気分が悪い時は医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置
消火剤
使ってはならない消火剤

霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス
棒状注水

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法
消火を行う者の保護

危険でなければ 充填容器を安全な場所に移す。
保護手袋、保護マスク、保護眼鏡等の適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業の際は、適切な保護具を着用する。密閉された場所には立ち入る前には換気する。

環境に対する注意事項

漏洩物が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。水で洗い流す場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境流出しないように注意する。

中和などの浄化方法及び
機材

漏洩した液は、おがくず、土砂、紙などに吸収させ、空容器に回収する。漏出区域周辺は水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざける。
取扱い後はよく手などを洗い、うがいと洗顔を行う。取扱い時は保護手袋、保護眼鏡を着用する。換気の良い場所で使用し、ミストの吸入を避ける。使用する時に、飲食または喫煙をしない。漏れや飛散を防ぐために、取扱いの都度、容器を密閉する。容器を転倒、落下させる等の衝撃を加える乱暴な取扱をしてはならない。

保管上の注意事項

高温、凍結のおそれのある場所を避けて保管する。換気の良いところで保管する。液が漏出しないように必ず密封して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エタノール	未設定	未設定	TWA -, STEL 1000 ppm
精製水	未設定	未設定	未設定

ばく露を軽減するための
設備対策

取扱いは換気の良い場所で行う。

適切な保護具

眼の保護には保護眼鏡、皮膚の保護にはゴム手袋や保護前掛け、呼吸器の保護には必要に応じて保護マスクを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態
形状
色

液体
液体
無色透明液体
微かなアルコール臭
データなし

臭い

臭いのしきい(閾)値

中性
データなし
データなし

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度

燃焼性(固体、気体)

40°C付近(エタノール濃度により推定)

データなし

データなし

燃焼又は爆発範囲

下限
上限

データなし

データなし

蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	0.97(20°C)
溶解度	水に溶け易い
n-オクタノール／水分配 係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱い条件において安定
危険有害反応可能性	情報なし

避けるべき条件	高温、凍結
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分外に該当 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼区分2Bの成分合計が18%のため、区分2Bに該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性		データ不足のため分類できない。 区分1Aの成分が18%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性) 区分1Aの成分が18%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(肝臓)の成分が18%のため、区分1(肝臓)に該当。
区分2(中枢神経系)の成分が18%のため、区分2(中枢神経系)に該当。
動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

吸引性呼吸器有害性

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

水生環境有害性(長期間)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

安全で環境上望ましい廃棄の方法

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

容器・包装の適正な処理方法

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、認可を受けた産業廃棄物処理者と委託契約して処理する。
容器などを洗浄した排水はそのまま流さず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および係規に従って処理を行うか、専門の業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78,Annex II ,and
the IBC code.

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
大気汚染防止法	エタノール(政令番号:61)(10%-20%) 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法	油性混合物(施行規則第2条の2) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表第1第1号イ(81))
外国為替及び外国貿易法	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

その他